

平成24年度 施策達成度評価シート (平成23年度実績評価)

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
8	信頼される質の高い行政	81	健全な財政運営の実現

施策主管部 財政部	評価者(施策統括マネージャー)名	財政部次長 鷹嘴 徹
-------------	------------------	------------

1 施策の目的(目指す姿)

対象 (誰を, 何を対象としているのか)	意図 (この施策により対象をどのように変えるのか)
財政	安定した財政運営ができています

2 達成度

(1) 成果指標

指標名	単位	指標の性格	H22実績値	H23計画 (年度目標値)	H23実績値	H24計画 (年度目標値)	H26計画 (最終目標値)
市税の収納率	%	↗	61.63	92.55	91.97(暫定)	92.55	94.00
経常収支比率	%	↘	90.40	90.60	90.60	90.30	88.60
実質公債費比率	%	↘	13.30	13.20	13.20	13.20	13.00

(2) 近隣自治体との成果水準比較

指標名	他自治体の状況等			
市税の収納率	青森市 91.51 山形市 92.92	秋田市 91.97 福島市 92.54	仙台市 93.76	盛岡市 91.63 <H22年度末>
経常収支比率	青森市 88.4 山形市 85.0	秋田市 92.0 福島市 85.1	仙台市 95.4	盛岡市 90.4 <暫定:H22年度末>
実質公債費比率	青森市 13.5 山形市 10.0	秋田市 13.4 福島市 5.9	仙台市 11.9	盛岡市 13.3 <暫定:H22年度末>

3 達成度評価結果

取組内容と成果、成果を得られた要因	<p>①市税については、景気低迷からやや持ち直しの傾向が見られるものの、依然として雇用情勢は厳しく個人消費も十分に回復せず、企業業績も伸び悩んでいることから、前年度並みの収納率を見込んでいたものの、東日本大震災の影響から、個人・法人市民税及び固定資産税とも前年度を少し上回ったものの、目標に届かなかった。</p> <p>②財政運営については、予算編成において、引き続き行政評価と総合計画の連動による「施策別配分方式」を実施し、市債残高を減らし後年度の公債費負担を抑制するため、市債発行額を歳入予算総額の8%以内かつ元金償還額以内にとどめた。</p> <p>③公有財産については、財産の把握に努め、財産台帳の整備を促進するとともに、財産活用推進室を設置し未利用市有地の販売促進に努めた。また、市庁舎整備に係る基金条例を制定し、将来に向けて、財源確保の環境を整えた。</p>
翌年度以降の課題、その要因	<p>①市税については、東日本大震災が、法人の経済活動や個人の所得に及ぼす影響は大きく、滞納者及び滞納額は増加すると推測される。滞納者の納付資力等を迅速、的確に調査し、債権を適切に管理するとともに、22年度に開始したコンビニ収納により収納機会の拡大を図り、23年度のコールセンターの導入による徴収体制の整備に努め、休日訪問催告や納付相談などの徴収対策を積極的に講じる。</p> <p>②社会保障費の増加に震災対応が加わるとともに、市税の減少が見込まれるなど、市財政を取り巻く環境は非常に厳しい。これに対応するため、硬直化が進んでいる施策別枠配分方式による予算編成の問題点等を把握し、より弾力的に執行可能な予算編成についてのさらなる検討を行う。また、歳出の徹底した抑制と歳入での自主財源の確保を図り、中期財政見通しと総合計画実施計画のマッチングにより、投資的経費の計画的予算配分に努めることとする。</p> <p>③公有財産については、引き続き関係課と連携し、市有財産の適切な把握と管理に努めるほか、増加が見込まれる未利用市有地の売却や貸付けに努めるなど、有効活用の促進を図る必要がある。</p>

4 成果達成への基本事業の貢献度

基本事業		比重
コード	名称	
811	賦課の適正化と収納率の向上	35
812	健全な財政運営	45
813	公有財産の適正管理	10
814	公有財産の有効利用促進	10

100

平成24年度 施策達成度評価シート(平成23年度実績評価・基本事業の状況)

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
8	信頼される質の高い行政	81	健全な財政運営の実現
基本事業			
コード	名称		
811	賦課の適正化と収納率の向上		

施策主管部 財政部	評価者(施策統括マネージャー)名	鷹嘴 徹
-----------	------------------	------

1 基本事業の目的(目指す姿)

対象 (誰を,何を対象としているのか)	意図 (この施策により対象をどのように変えるのか)
歳入	適正に賦課して自主財源を確保する

2 成果指標

指標名	単位	指標の性格	H22実績値	H23計画 (年度目標値)	H23実績値	H24計画 (年度目標値)	H26計画 (最終目標値)
一般会計市税収納率	%	↗	91.63	92.55	91.97(暫定)	92.55	94.00

3 役割分担分析

		役割の内容	役割分担 比率(%)
各主体の 役割の状況	市	納税義務者に対し、市税を適正に賦課し、滞納者から確実に滞納市税を徴収する	45
	国・県・ 他自治体	課税資料や未申告者に関する情報などについての相互協力	5
	市民・NPO	税の期限内申告や納期限納付に努めるなど国民としての義務を果たす	25
	企業・その他	法人関係税の適正な申告納付と特別徴収義務者としての責任を果たす	25

平成24年度 施策達成度評価シート(平成23年度実績評価・基本事業の状況)

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
8	信頼される質の高い行政	81	健全な財政運営の実現
基本事業			
コード	名称		
812	健全な財政運営		

施策主管部 財政部	評価者(施策統括マネージャー)名	鷹野 徹
-----------	------------------	------

1 基本事業の目的(目指す姿)

対象 (誰を,何を対象としているのか)	意図 (この施策により対象をどのように変えるのか)
歳出 歳入	限られた財源の中で計画的に執行する

2 成果指標

指標名	単位	指標の性格	H22実績値	H23計画 (年度目標値)	H23実績値	H24計画 (年度目標値)	H26計画 (最終目標値)
市債発行額(市債依存度)	%	↘	6,272,700(5.9)	8,472,700(7.8)	8,236,600(7.3)	6,586,000(6.3)	6,334,000(6.6)
自主財源比率	%	↗	45.70	43.60	43.60	44.10	53.30

3 役割分担分析

		役割の内容	役割分担 比率(%)
各主体の 役割の状況	市	厳しい財政状況であるので、簡素で効率的な行政システムを確立するため、徹底した行政改革を推進するとともに、歳出の徹底した見直しによる抑制と重点化を進め、歳入でも自主財源の積極的な確保を図り、効率的で持続可能な財政運営を進めていく。また、その取り組み状況について、積極的な情報提供に努める。	55
	国・県・ 他自治体	地方の財政状況を踏まえつつ、国庫補助負担金・地方交付税・税源移譲を含めた税源配分の見直しを図る。	25
	市民・NPO	国民の義務である納税の義務を果たすとともに、限りある財源がどのように有効に使われているか、将来の世代の負担はどれくらいなのか等絶えず関心を持ち、市政の動きを注視する。	15
	企業・その他	法人・個人に対する納税の義務を果たす。	5

平成24年度 施策達成度評価シート(平成23年度実績評価・基本事業の状況)

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
8	信頼される質の高い行政	81	健全な財政運営の実現
基本事業			
コード	名称		
813	公有財産の適正管理		

施策主管部 財政部	評価者(施策統括マネージャー)名	鷹野 徹
-----------	------------------	------

1 基本事業の目的(目指す姿)

対象 (誰を,何を対象としているのか)	意図 (この施策により対象をどのように変えるのか)
公有財産(土地,建物,有価証券等)	適正に管理する

2 成果指標

指標名	単位	指標の性格	H22実績値	H23計画 (年度目標値)	H23実績値	H24計画 (年度目標値)	H26計画 (最終目標値)
財産台帳整備面積率 (財産台帳整備面積/行政財産の土地面積)	%	→	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00

3 役割分担分析

		役割の内容	役割分担 比率(%)
各主体の 役割の状況	市	公有財産を適正に管理するとともに,外部委託の積極活用等による経費削減。未利用地等公有財産の売却を含む利活用	85
	国・県・ 他自治体	関係法令の整備,連携による事例研究等	5
	市民・NPO	財産(公共施設)の安全かつ適正な利用。不法占有等の通報	10
	企業・その他		

平成24年度 施策達成度評価シート(平成23年度実績評価・基本事業の状況)

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
8	信頼される質の高い行政	81	健全な財政運営の実現

基本事業	
コード	名称
814	公有財産の有効利用促進

施策主管部 財政部	評価者(施策統括マネージャー)名	鷹嘴 徹
-----------	------------------	------

1 基本事業の目的(目指す姿)

対象 (誰を,何を対象としているのか)	意図 (この施策により対象をどのように変えるのか)
競馬場跡地・市場跡地利用等	有効的に活用する

2 成果指標

指標名	単位	指標の性格	H22実績値	H23計画 (年度目標値)	H23実績値	H24計画 (年度目標値)	H26計画 (最終目標値)
未利用市有地面積 (都市計画事業代替地除く)	1,000㎡	↓	160	120	152	140	120
有効的に活用されていない建物	件	↓	3	1	3	2	0

3 役割分担分析

		役割の内容	役割分担 比率(%)
各主体の 役割の状況	市		100
	国・県・ 他自治体		0
	市民・NPO		0
	企業・その他		0